



れんげ

第143号 令和2年 9月1日 発行

—製作・発行—

(宗) 仙寿院

〒026-0022
岩手県釜石市大只越町2-9-1
TEL 0193-22-1166
FAX 0193-22-1150
ホームページ <http://senjyuin.info/>
E-mail: senjyuin@juno.ocn.ne.jp

九月の行事 『秋彼岸』

左の写真は、今や初秋を代表する花・コスモスです。メキシコ原産で明治時代に日本に伝わりました。花言葉は「調和」です。荒れた土地でも日当たりさえあれば均一に咲くことから調和を表す花と言われている。秋桜(あきざくら)と書いてコスモスと読むようになったのは、山口百恵さんの歌からです。

荒れた社会にコスモスの表す心の調和が広がると、人に笑顔が戻り、心が穏やかになると思いませんか。調和は法華経に説かれた人になければならない大事な精神です。



秋のお彼岸のご案内です。

お盆で供養したのだからと考える人が多いと思いますが、お盆の供養は先祖のため、これを化他行(人に対する行い)と云います。

彼岸の供養は自行(自分の修行としての行い)と云って普段できない自分のための行いです。

お盆の時に出来なかった霊位、特に水子や大事だった動物にも供養しましょう。

◆秋彼岸の法要のご案内

《日時》九月二十二日(秋分の日)

午後一時より

《法要》秋彼岸会塔婆供養大法要

《法話》住職上人

《参拝》水子救子『仙寿観音』参拝

☆塔婆の申し込みは、当日では混雑しますので、二十日までにお願います。別紙の申込用紙をご利用下さい。

檀家・信者・宗旨を問わず、どなたでも供養できます。電話・FAX・メールでも受け付けます。ご先祖だけでなく供養したい霊はすべて供養することができます。特に水子さんがある方は忘れずに供養して下さい。あなたがなさらないと水子霊は供養されませんよ。

盂蘭盆法要厳修。流灯会は大渡で260ヶ流灯！



送り盆の行事「灯籠流し」では暗闇の中を灯籠の灯りが進んで行く様は、厳粛な中に手を合わせ、先祖を思わずにはいられませんでした。多くの方々が大渡橋で合掌し先祖を見送っていました。
通りすがりの市民も思わず手を合わせ祈る姿は、誰もが先祖を大事に想う姿ですね。

今年のお盆はコロナ感染の影響から、お棚経をお休みにいたしました。こういうことが来年は無いかを祈るばかりです。お盆法要にも五十名程の参拝者と少なく、寂しい法要となりましたが、十六日は予定通りとなり安堵いたしました。
写真①のように橋の下ではいつものように灯籠を流す作業が行われました。来年は以前のように海で行う予定です。



写真は菊地写真館の提供です



お知らせとお願ひ
【墓参のゴミについて】

ごみ箱を設置しておりますが、ゴミをそのまま捨てていく方が多く困っています。

お墓のゴミは基本的には持ち帰っていただきますが、止む無く置いていかれる方はせめてビニール袋に入れて下さい。

ゴミ処分の費用や作業をする方々のご苦労をご理解下さい。

【墓地のお花について】

昨今墓地にお花をあげても次日には無くなっていると苦情がありました。これは人の仕事ではありません。鹿の食害です。中には生花をあげても直ぐに無くなることから、造花をあげても良いかと問い合わせがありました。本来生花ですが、常時あげるものには食害を考慮して造花でも良いと思われれます。

月守りをみんなで持ちましょう

俱生神月守りは単なる気休めのお守りではありません。正確には俱生神といって、同生天・同名天の二人の神様を一緒に云います。

《同生天》は身の危険を護つて下さる神様です。

《同名天》は生活を護つて下さる神様です。

お釈迦様のお説きになった華嚴經に詳しく書かれておりますが、人が命を宿した時から命を終えるまで、一生離れず護り通す神様です。日蓮大聖人様も「一身身に添えし二天」とおっしゃっております。あなたは俱生神はあなただけを護り、他の人には関係ありません。他の人にも各々の俱生神が護っているのです。当人だけの護りに専念するのです。

月守りはその契りの符（あかし）です。

月守りを毎月交換するのは、先月の御守護に対し感謝の念を示し、更に新たなる御守護の力をいただくためです。

「心の固きによりて神の護り則ち強し」との大聖人の教えのようにお題目を唱えて祈りを加えれば、願いは確実に成就するのです。だれもが持つことができます。月守りを持つて願いが叶ったという人、大震災の突然の災難から助かった人、なんとなく聞こえた声に従って行ったら津浪に遭わなくて助かったという人、すんでの処で事故に遭わなかった人等、多くの様々な体験をされた方がいます。貴方も身を守り、幸運が得られるよう持つてみませんか。（月・三百円です）



紙上法話 《院首執筆「園林」より》

「心」

心とは不思議な存在である。私たちの目には見えないが、行いの結果を見ると心のあり様がよく判る。心は自分の持ち物であるのに自分の考え通りにならない。物事を正しく行おうと思うのに、間違ったことをしたり、優しくしようと思いがら邪険なことを言ったりする。精を出して働こうと思いがら、怠けてもしまふ。

心に虚栄心があれば必要以上に身を飾り、不埒（ふらち）な心は計算づくで人と交際をする。独りよがりには必ず嫌われる。大切なことは人に慕われる者は必ず陰徳を積んでいることである。

陰徳とは見えない所で積む善行である。この世の中を幸せに送るも不幸に暮らすも、全てその人の心掛け次第である。人生の大事はそのことを知るか否かにかっている。行いは人の心の表れであることを忘れてはならない。

仙寿院・日顕寺どちらの行事も自由に参加できます。檀家・信者に限らず、どなたでも行事に参加やお参りができます。遠慮しないで一度参加してみませんか。

☆仙寿院の行事のお知らせ

9月の行事

秋彼岸大法要 9月22日（秋分の日） 午後1時

塔婆供養とご法話、彼岸会法要後は水子霊のため、仙寿観音様前でご回向いたします。お塔婆の申し込みは9月20日までにお願ひします。当日は混雑しますので出来るだけお早めに！参拝者皆様にご法要後、お供物のお彼岸団子が配られます。家族で分け合っていましたら、ペット墓地「愛憐墓」でもご回向いたします。

10月の行事

10月盛運祈願祭 10月 1日（木曜日） 午後1時30分

毎月一日に行っております。運が開けるようご祈願と、お守りの交換を行います。祈願後、月例法話があります。どなたでも参加できます。一度参詣しませんか。

11月の行事

お会式とお守り祈願祭 11月 1日（日曜日） 午前11時より

日蓮大聖人様第739遠忌法要とご法話・お加持（ご祈祷）があります。詳細はまだですが、大聖人様へのご報恩の行事です。心がけておいて下さい。11月の盛運祈願祭も併せて行います。行事はコロナ感染症対応で行う予定です。

お会式逮夜唱題行 10月31日（土曜日） 午後4時から

朝からお会式準備の作業を行います。お手伝いできる方は10時にお出で下さい。ご報恩の唱題行は4時からです。大聖人様に感謝の唱題と功德を積みましょう。

☆お問い合わせ・申し込みは仙寿院寺務所へ TEL 22-1166 Fax 22-1150
メールでも結構です。E-mail : senjyuin@juno.ocn.ne.jp

☆日顕寺の行事のお知らせ

9月信行会 9月13日（日曜日） 午後1時 於・日顕寺

10月信行会 10月17日（土曜日） 午後1時 於・日顕寺

日顕寺お会式 11月 8日（日曜日） 午前11時 於・日顕寺

星祭とお焚上げ 12月20日（日曜日） 午前11時 於・日顕寺

◆秋彼岸塔婆供養申込書

【大塔婆・二千円　小塔婆・一千円　水子供養・一胎二千円】

施主名	水子供養の申込欄 (戒名または俗名。 ないときは水子の親の名)	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	戒名 または 俗名

塔婆	大本・小本	円
水子供養	胎	円
布施		円
合計		円